

中央教育審議会教育振興計画特別部会の「検討に当たっての基本的な考え方について」
及び「重点的に取り組むべき事項について」に関する意見提出について

(社)全国高等学校文化連盟
会長 土川 春 生
(岩手県立盛岡第四高等学校)

高等学校における部活動は、特に希望する生徒によって行われる活動ではありますが、「学校において計画する教育活動」とされています。

学校教育活動の一環としての部活動の果たす役割は、計り知れない大きなものがあると認識しています。

今回の検討に当たっての基本的な考え方にもありますように、子どもたちは何かに意欲的に取り組んだりすることが以前より難しくなりつつあると思います。

しかしながら、高等学校の部活動においては多くの高校生が自らの自主的な活動を通して、必要な時間を確保し、教員の指導助言のもとで、熱心に活動しております。

日々の活動・各種大会への参加等を通じた部活動は、今回ご指摘のある規範意識の育成や、道徳教育、互いのコミュニケーションをとおしての社会性、協調性の養成、リーダーシップの養成、キャリア教育も含め、課外教育に大きく資するものがあることは誰もが認めるところです。

特にも豊かな情操を育み、人生の礎を培うものとしての子どもたちの文化的活動は、「心の教育」ばかりでなく、社会における「文化的」な領域を世代を超えて享受し、鑑賞し、自らを表現する活動であり、その国の文化活動の大きな支えであります。

高等学校における文化系・運動系の部活動は、子どもたちの個性に合った活動を尊重するものでもあり、学力に向上においても大きな原動力であると判断しています。

高等学校文化連盟の活動は、文化庁と深く連携して行われておりますが、文化立国を目指した活動の大きな礎と考えています。

このような視点から、以下の提言を申し上げます。

- 1 高等学校教育における部活動の果たす重要な役割について明確にして欲しい。
特別活動の中に、その意義を盛り込んでいただきたい。
- 2 教員定数に関わるが、高等学校における芸術教員の確保並びに部活動指導者の確保をお願いしたい。
- 3 教職員の部活動指導のための勤務や処遇などの法的整備をお願いしたい。
部活動は教科外活動ということで本務外と考えられがちになり、その業務に対しては消極的にならざるを得ない傾向がある。部活動も「関連する業務」という面から「出張」、「勤務」に対し本務同様の扱いをお願いしたい。

【資料】全国高等学校校文化連盟の概要

全国高等学校校文化連盟（全国高文連）は、高校生の芸術文化活動を広く支援することにより、その創作活動を啓発し、及び、文化活動の充実を図り、もって、高校生の健全な育成に資することを目的として昭和 60 年に設立されました。

全国高文連は、全国高等学校体育連盟と並ぶ高校生の部活動に関わる二大組織の一つです。

主な事業として、高校生の芸術文化活動に関する行事の開催、研修会・講習会の開催、調査・研究、これらの活動を通じての国際交流等があります。また、その他この法人の目的を達成するためにその都度必要な事業を展開してまいりました。

代表的な行事に、全国高等学校総合文化祭（今年度第 31 回島根大会）、同優秀校東京公演（東京：国立劇場）、全国高等学校文芸コンクール並びに文芸道場等があります。